

開館25周年

UTAGAWA

KUNIYOSHI

歌川国芳展

～天才・国芳が描いた江戸庶民の暮らし～

同時開催
武蔵野絵画展
いさおとしひこ
画・恵俊彦

本朝名橋之内江都日本橋略図

平成28年 10月8日(土)～10月23日(日)

開館時間：午前9:00～午後5:00 (入場は16:30まで)

休館日：毎週月曜日 ※10月10日(月)は開館

入館料：一般150円(100円)／高・大生100円(60円)／中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1
TEL:04(2955)3804 FAX:04(2955)3811
<http://sayama-city-museum.com>

協力：恵俊彦(敬省略)

※一部内容を変更する場合があります。

指定管理者：アクティオ株式会社

ご来館は電車・バスのご利用が便利です

開館25周年

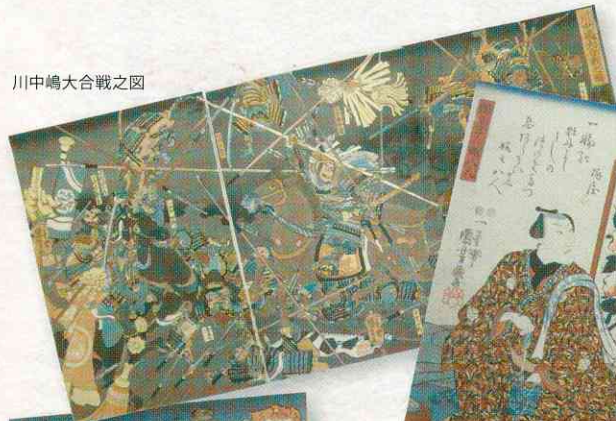
UTAGAWA

KUNIYOSHI

歌川国芳展

～天才・国芳が描いた江戸庶民の暮らし～

川中嶋大合戦之図



独息子に嫁八人



人かたまつて人になる



狂画水滸伝豪傑一百八人
十番續之内巻



達男気性競金神長五郎



白面笑壁のむだ書



古猫妙術説



歌川国芳は、江戸時代末期を代表する浮世絵師の一人であり、斬新なデザイン力、奇想天外なアイデアを持ち、浮世絵の枠にとどまらない魅力的な作品を多数生み出しました。今回の展示では、洋画家であり浮世絵の蒐集家である恵俊彦氏のコレクションを紹介します。また、舞い舞いホールの「国芳シアター」では国芳の世界を映像で表現します。江戸庶民に勇気と笑顔を与えた国芳の情感あふれる世界をぜひお楽しみください。

歌川国芳プロフィール

寛政九年～文久元年・1797年～1861年江戸時代後期の浮世絵師。歌川豊国の門人。十代でデビューしたがヒット作には恵まれず、三十代になって出版した『通俗水滸伝豪傑百八人之壱個』シリーズで“武者絵の国芳”としての地位を得る。また、美人画、役者絵、風景画、風刺絵など、あらゆるジャンルで活躍した。江戸っ子気質で面倒見がよく、多くの傑出した門人も輩出し、幕末・明治の絵画の可能性を広げた。



- 西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- 西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点で下車、徒歩3分
- 圏央道狭山日高インターより車で15分

オープニングギャラリートーク 10月8日(土) 午後2:00～午後3:00

洋画家として抒情溢れる武蔵野の風景画を描かれている恵俊彦氏によるギャラリートークを、オープニングイベントとして開催します。国芳の作品の蒐集家・研究者として国内はもちろん海外でも高い評価を受けている恵氏の解説を、お楽しみください。

当館の収蔵品の中から、歌川国芳の門下でかわなべきょうさい
あった河鍋曉斎の「ねずみの図」(狭山市指定文化財)も展示いたします。



開館25周年

UTAGAWA

KUNIYOSHI

歌川国芳展

～天才・国芳が描いた江戸庶民の暮らし～

同時開催
武蔵野絵画展
いさおとしひこ
画・恵俊彦



本朝名橋之内江戸都日本橋略図

平成28年 10月8日(土)～10月23日(日)

開館時間：午前9:00～午後5:00 (入場は16:30まで)

休館日：毎週月曜日 ※10月10日(月)は開館

入館料：一般 150円(100円)／高・大生 100円(60円)／中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1
TEL:04(2955)3804 FAX:04(2955)3811
<http://sayama-city-museum.com>

協力：恵 俊彦 (敬省略)

※ 一部内容を変更する場合があります。

指定管理者：アクティオ株式会社

ご来館は電車・バスのご利用が便利です

恵コレクションについて

いさお としひこ
恵 俊彦

恵コレクションは、これまで多くの展覧会に出品されてきました。しかし、いつも選ばれるのは、いわゆる有名作が中心となり、大変貴重な、また面白い作品にも係わらず、出品の機会が少ない作品もあるのを大変残念に思っておりました。

この度、そのような作品をぜひとの狭山市立博物館の要望を頂き、このような、あまり知られていない秀作も含めた興味深い展覧会を開催することになりました。

以上に渡り、武蔵野を描き続けてきた尚、私はコレクターである以前から、半世紀洋画家でもあります。今回のコレクション展と共に、私の武蔵野を描いた作品も紹介して頂けるとのこと。この狭山も武蔵野にかこまれていることから、皆様に喜んでいただけるのではないかと期待しております。



いさお としひこ
恵 俊彦

1935 年 東京生まれ

透明感のある色彩で失われつつある武蔵野の情景を一貫として描き続けている。

1953 年 示現会初入選、同年日本水彩画会入選

以後毎年出品 後、示現会及び日本水彩画会を退会

1958 年 武蔵野美術学校洋画科卒（在学中森芳雄、山口薫、麻生三郎等に学ぶ）

1964 年 国際青年美術家展入選

1970 年 日本橋画廊企画により初の二人展及び個展

以後鞆画廊、あかね画廊、スルガ台画廊企画による個展にて作品発表

1983 年 風土展に入会 以後大作は風土会展で発表

2010 年 河鍋暁斎記念美術館企画により、暁斎プラスワンシリーズ 20「恵俊彦

武蔵野風景画－見沼用水－」展

風土展出品作の多くは京都造形芸術大学附属康耀堂美術館収蔵

風俗



ほんちようめいきょうのうち え どにほんばしりやくず
本朝名橋之内江都日本橋略図



げんじ え さるまわし ゐるげんじ おんな
源氏絵 (猿回しを見る源氏と女たち)

役者絵



さんばそう
三番叟
なかむらうたえもん
中村歌右衛門



おきな
いちかわくぞう
市川九藏



せん
千ざい
いちむらうざえもん
市村羽左衛門

武者絵



もんがくしょうにん
文覚上人
しよめいえんどうむしやもりどう
初名遠藤武者盛遠



つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり
通俗水滸伝豪傑百八人之一个
きゅうもんりゅうしん
九紋竜史進



みなもとのよりみつこうやかたつちぐもようかいをなす
源頼光公館土蜘蛛妖怪図
作者不詳(歌川国芳作品の模写)



げんさんみよりまさぬえたいじ
源三位頼政鶴退治

死絵



はちだいいちかわだんじゅうろう
八代目市川團十郎
しにえ
死絵

生人形



ふうりゅういきにんぎょう
風流生人形

流行神



じいさん ばあさん あねさん
りゅうこうけん
里う行拳

物語絵



おおえやまふくじゅきもり
大江山福寿酒盛



かななかにまじまいかっせんのみ
川中嶋大合戦之図

風景絵



つきごもんあとのず
築地御門跡之図

二十四孝



にじゅうしこうどうじかがみ
二十四孝童子鑑
びんしけん
関子齋

団扇絵



はなみちやや おすめ
花見茶屋の娘

美人絵



せっちゅうときわ
雪中常盤と子ら
ときわごぜん
常盤御前

戯画



どうがいてんちゅうぎょうじ
道外天中行事
いつか
五日めの風



りゅうこうどうがい
流行道外こまづくし
ごろうときわね
こまの五郎時宗・
あさひな
こまやし朝日奈ももんごま



あさひなさぶろうよしひで
朝比奈三郎義秀
ばんこく
萬国すまふの圖



りゅうこうね たわむれ
流行猫の戯
みちゆきねこやなぎさりのつきかげ
道行猫柳 姪 月影



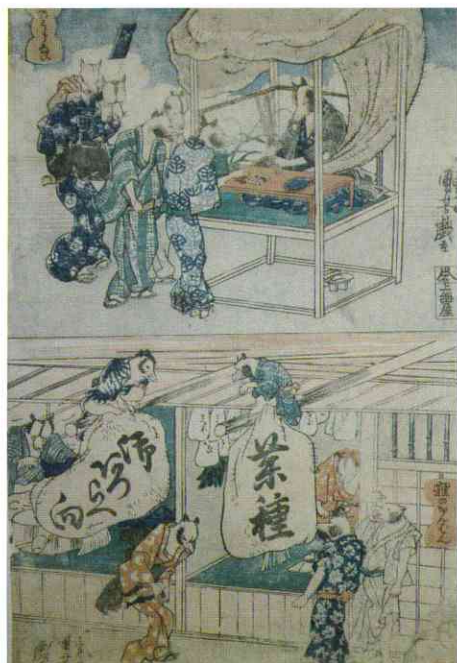
え どめいしよさんじゅうけい うち
江戸名所三十景の内
どうがいひざくりげ きのしたわ かい
道外膝栗毛 木下川の返り



えほうかほう 恵方果報
ふくのいりまめ 福乃入豆



しちふくじん 七福神
おおえやまみて 大江山見立



たぬき 狸のうらない
たぬき 狸のかんばん



じんぶつかみくずかご 人物紙屑籠



ひゃくいろはをし 百品噺
ちゅうぶらりんのはなし



きょうがでんぐ 狂画天狗のごり生
きょうがでんぐ 狂画天狗のかるこ

開館25周年

UTAGAWA

KUNIYOSHI

歌川国芳展

～天才・国芳が描いた江戸庶民の暮らし～

歌川国芳は、江戸時代末期を代表する浮世絵師の一人であり、斬新なデザイン力、奇想天外なアイデアを持ち、浮世絵の枠にとどまらない魅力的な作品を多数生み出しました。今回の展示では、洋画家であり浮世絵の蒐集家である恵俊彦氏のコレクションを紹介します。また、舞い舞いホールの「国芳シアター」では国芳の世界を映像で表現します。江戸庶民に勇気と笑顔を与えた国芳の情感あふれる世界をぜひお楽しみください。

歌川国芳プロフィール

寛政九年～文久元年・1797年～1861年江戸時代後期の浮世絵師。歌川豊国の門人。十代でデビューしたがヒット作には恵まれず、三十代になって出版した『通俗水滸伝豪傑百八人之壱個』シリーズで「武者絵の国芳」としての地位を得る。また、美人画、役者絵、風景画、風刺絵など、あらゆるジャンルで活躍した。江戸っ子気質で面倒見がよく、多くの傑出した門人も輩出し、幕末・明治の絵画の可能性を広げた。

川中嶋大合戦之図

独息子に嫁八人

人かたまつて人になる

狂面水滸伝豪傑百八人
十番續之内巻

達男氣性競金神長五郎

白面笑壁のむだ書

古猫妙術説

オープニングギャラリートーク 10月8日(土) 午後2:00～午後3:00

洋画家として抒情溢れる武蔵野の風景画を描かれている恵俊彦氏によるギャラリートークを、オープニングイベントとして開催します。国芳の作品の蒐集家・研究者として国内はもちろん海外でも高い評価を受けている恵氏の解説を、お楽しみください。



- 西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- 西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点で下車、徒歩3分
- 圏央道狭山日高インターより車で15分



当館の収蔵品の中から、歌川国芳の門下であった河鍋晩斎の「ねずみの図」(狭山市指定文化財)も展示いたします。